

# 韓国留学体験記

@山中麻希（経済学部4年）

※前記の若林さんと同じ時期、同じ大学に留学した体験記です。  
山中さんはニュージーランドにも留学しているのでそちらも参照(p.262～)してください。

## 1. 留学までの奇跡

- 2005.12 これまで漠然と抱いていた留学願望を叶えるべく、情報収集開始。
- 2006.1 先生に相談。TOEFL 対策を始める。韓国旅行。延世大学見学。
- 2006.3 北大スプリングプログラムに応募してニュージーランド・オークランド大学付属語学学校にて英語研修。ホームステイで2週間。
- 2006.4 さんざん悩んだ結果、行き先を韓国に決定。韓国語の勉強も始める。
- 2006.5 留学書類を教務係に提出。寮の申し込み、入金をする。予防接種を受ける。
- 2006.6 VISA 取得。保険にも加入。
- 2006.7 経済学部交換留学オリエンテーション。クラーク財団奨学金申請。荷造り。
- 2006.8 いよいよ韓国への旅へ！

## 2. 志望動機

大学2年生のときに初めて海外旅行をしました。そこで一気に海外熱が爆発！で、ヒマさえあれば外国へ行きたいと、世界地図を眺める毎日でした。ある日、北大に交換留学枠があることを知り、今がチャンスと思い、情報収集を始めました。英語力にはあまり自信はなかったのですが、気合と根性でなんとかなると思い、決行。でもやっぱり英語はちゃんと勉強していった方がよかったですなどあとになって痛感することになるのですが・・・。

なぜ韓国なのかというと、ニュージーランド研修の時に韓国人と仲良くなり、韓国に興味をもったのがきっかけです。あと、韓流ブームだったしゴハンは美味しいし、といった感じに、悩んでいた割には単純な理由で決定しました。

## 3. 留学準備

### 3-1. 手続き

自分でやる手続きは国際寮への申し込み、入金、VISA申請、航空券の手配、保険加入くらいです。国際寮への申し込みは期限内であっても定員を超えると入れなくなるので早めに手続きしたほうがいいと思います。実際に、申し込みが遅れたために自分で下宿を探していた友達も結構いました。VISA申請は韓国領事館がすぐ近くにあるのでとても簡単に手続きできます。3日くらいで完成し、しかも無料です。係のおじさんはいつも不機嫌で怖かったですが。手続き関係はぬかりなく、直前にあわてなくていいように余裕をもってやりましょう。でも私はやる気マンマンすぎて早くにVISAを取ってしまったので、在韓期間が短くなってしまいました。学校が終わったらゆっくり旅行でもしようと思っていたのですが、ちょっとミスでした。VISA有効期間は申請日からちょうど半年になるので、そのことも頭に入れておいた方がいいです。

『韓国留学体験記』 山中 麻希

### 3-2. 語学

私は交換留学の条件である TOEFL550 点というのも満たしていませんでした。このままでは授業だけでなく私生活もやばいんじゃないかな不安があったので、留学を決めた 2006 年 1 月あたりから英語の勉強を始めました。そして、ここは一発海外に研修に出てみようと考えました。またま教務窓口の前を通りかかった時にみつけた北大スプリングプログラムで、ニュージーランドのオークランドでの英語研修プログラムに申し込むことに決めました（別に体験記を書いています）。

また、4 月からは言語文化部の英語や韓国語、国際交流科目の英語の授業も履修し、語学力アップに努めました。・・・が、やっぱり普段の学校やゼミの課題、部活をこなしながらでは、そんなすぐにマスターできるはずがないです。というより忙しいことを理由にして私は語学勉強をちょっとさぼっていました。これが大きな失敗でした。多少は成果が出たものの、英語に対する不安を抱えたままの出発になってしまい、後にこの英語が、韓国留学において私の大きな悩みの種となります・・・。

### 3-3. 健康

長旅に出るにあたって、一番大事なのが健康です。悪いところは全て治して出発するのがよいでしょう。私は出国前に虫歯があることに気づき、5 ヶ月間虫歯と付き合うハメになりました。予防接種もさばらずに打ちましょう。私が受けたのは破傷風、狂犬病、A 型肝炎の 3 種類で総額 3 万円くらい。ちょっとお財布には痛かったですけど、渡航先では何があるか分からぬので必ず打っておいた方が安心です。

私のルームメイトはしおちゅう風邪を引いてよく病院にも付き添いましたが、外国の薬を飲むのは不安だし、点滴を受けているときに彼女が「この点滴、大丈夫かなあ・・・」と心配そうに言っていたのをよく覚えています。確かに怖い・・・。とにかく、万全の体制で出発します。

## 4. 延世大学

延世大学は、韓国では一番古い伝統を誇る名門私立大学で、「韓国の慶應」と呼ばれるらしいです。まあ普通の人は知らないと思いますが。私も知りませんでした。

北大と同じように真ん中にメインストリートがあって、その脇に立派な図書館や校舎が並びます。ドラマや映画のロケが行われることも多く、私も厚かましくよくヤジウマしました。同じ延世大学内の東側に位置する韓国語学堂では留学生が韓国語の授業を受けます。日本人やコリアンアメリカンに人気で、全体の 60% を占めているらしいです。

### 4-1. 「げ！！！ワカララン！！！！英語の授業・・・。」（9月当初）

ニューミレニアムホールという建物で留学生向けの授業が行われます。ここの自動販売機のコーヒーは 30 円くらいで飲めて安いです。話がそれましたが、もちろん延世の学生も受けることができて、私が取っていた授業では半数くらいが延世の学生でした。寮から徒歩 1 分。ロケーション最高です。5 分前に起きても間に合います。「絶対それバジャマでしょ」って感じの格好で授業に来る留学生多数。授業は 1 コマ 50 分で、1 コースで週に 3 ~ 4 コマの授業があります。履修はネット上で行います。ハイテク！！！

英語での授業は予想以上に大変でした。留学したて当初は授業で何が起こっているのかさっぱり分からず、ついていけませんでした。ディスカッションやプレゼンテーションをした経験もあまりないし、経済用語も分からぬ。宿題も最初の頃は友達が 1 時間で終わらせるものを 1~2 時間かかっておりしていました。これは大変だということで、毎日の予習・復習にはたっぷり時間をかけて、授業内容を友達に確認したり、録音機を持って行って授業を録音し、それを部屋で聞いていました。

たり、それでも分からぬときはネイティブの友達にそれを聞かせてタイピングしてもらったりしました。週末といつても気が抜けず、水曜日の授業に日曜日くらいから緊張していました。そんなことを繰り返しているうちに1ヶ月ほど経つと、なんなく教授やみんなが言ってることが分かつてき、それからは授業がだんだん楽しくなってきました。

あとビックリしたのが、YSCEC (Yonsei Cyber Education Center) と言ってネット上で教授が指示を出したり、宿題を提出したり、グループの子たちとディスカッションできるかなりハイテクなツールがあるのです。とっても便利でしたが、常にチェックしていないと気づかぬうちに課題が出ていたりするのでたまに厄介でした。

#### • Korean Business Ethics

この授業では、ケーススタディによって倫理的経営とは何か、企業のトップが下すべき判断とは、主に韓国の企業がどんな経営を行っているか、他国の企業との違いは何か、といったような内容をやっていました。教科書はなく、教授が出したテーマに基づいたグループディスカッション、プレゼンテーションがほとんどです。最初に出た宿題は、「グループのメンバー全員でちょっとリッチな晩ご飯を食べて来い」といったものでした。その他、「グループである映画の再現ビデオを作って来い」とか、たまに変わった面倒な宿題が出るので、みんな crazy だとか strange だとか He teaches nothing だとか散々文句言つてました。でも頑張ればいいグレードをくれる先生だったので、結局みんな一生懸命でした。

授業の内容的には、韓国や他の国の今まで知らなかつたような企業を知り、また倫理という面から企業をみたことが今まであまりなかつたので新鮮でおもしろかったです。

#### • Doing Business in China

今、急速に発展しつつある中国市場をさまざまに面からみてみようという授業です。前半は教授による講義、後半は学生によるプレゼンテーションで構成されていました。私のグループは「中国における携帯電話市場」というテーマでプレゼンをしましたが、このプレゼンが長いのなんのって・・・。プレゼン1時間半、その後クラス全体とディスカッション1時間半、全部で3時間を1グループが担当するという大きなものでした。準備に2週間かけ、リサーチペーパーは10枚。プレゼンの練習も何度も何度も繰り返し、本番は3時間と大変なものでしたが、無事に終わつた時には今まで感じたこともないような達成感でした。一番思い出に残っています。グループの子に、マキのエッセイが一番良かったよ！と言つてもらった時は本当に嬉しかつたです。頑張つてよかったです！ ！！

#### • 働き者の延世、怠け者の留学生

沢山のグループワークを経験して、思ったこと。延世の学生はとっても勤勉でなんでも頑張ります。聞いたところによると、成績がそのまま就職に影響するので、みんないい成績をとるために必死なんだそうです。一方、留学生はグレードを気にしている人は少なく、(可を取ればオッケーという感じ) みんなのんびり留学ライフを楽しんでる。そのせいか、たまに衝突が起きるのです。

延世の女の子2人（ソギンとガヒー）と、アメリカ人の男の子（マイケル）と私がグループだったとき、ソギンとガヒーは一生懸命で作品の完成度を上げるために何度もミーティングをしようとするんだけど、マイケルは来ない。「なんで来ないのよ！ グループワークはみんなでやるものでしょ！」「いやあ～僕は別にいいグレード欲しい訳じゃないし、そのまでいいと思うよ。」「はあ！？ グループワークの意味分かる？？ とにかくアンタが来ないと出来ないでしょ！ 今日8時に図書館の前に来てよ！」「いやあ～今日はバンドの練習があるから無理だよ。」「提出明日の朝10時なのよ！ なんでいつもそんなに適当なのよ！ 私の言つてることわかんないの！？」……。といった感じでいつもケンカしていました。結局マイケルは一度もミーティングに現れず、3人

で作業することが多かったです。これも文化なのでしょうか。ソギンとガヒーの機嫌は最後まで悪かったです。でも、マイケルが怠け者だったせいで、2人は私を頼ってくれる面もあって仲良くなれて嬉しかったです。あ、誤解のないように言っておきますが、留学生全員が適当なわけではありません。遊び人の人が多かったのは事実ですが、めっちゃ一生懸命な人もいました！！！特にエクアドルから来た35歳のオバチャンは、全部の成績をA+にするために、グループメイト全員のケツを叩いて課題をやらせるという熱心ぶりでした。怖かったです。

#### 4-2. 語学堂

ここでは韓国語を月～金の毎日2時間ずつ習います。始めにテストでレベル分けされるので同じようなレベルの人と一緒に学ぶことになります。私のクラスは初級で、アニヨハセヨといった簡単な挨拶から始まりました。アメリカ人3人（ティナ、コビー、デニア）、カナダ人1人（ジエシカ）、フランス人1人（ジャスティン）、中国人2人（リリー、エコ）、台湾人1人（シンビ）、私の計9人のクラスでした。みんな仲がよく、すごく居心地がよくて私はこのクラスが大好きでした。習ったばかりの韓国語を使って会話するのが面白かったです。一緒に旅行に行ったり、スケートにかけたり、家でパーティーをしたり、他のクラスの人にも「いつもこのクラスは楽しそうだね」とよく言われました。

普段の授業と違い、初級レベルなこともあってか、みんなかなりリラックスして授業を受けています。非常に自由です。お菓子を食べたり（しかも先生にも勧めてるし）地べたに座っていたり、やりたい放題でした。授業をつぶしてエコの誕生日パーティーを教室で開いたこともあります。そんな光景も日本ではなかなか見られないでかなり楽しかったです。

毎日授業があるので語学力もどんどん上達するのを感じることができます。普段の友達との会話も韓国語の割合が増えてきます。韓国語は日本人にとって学びやすい言語です。文法はほとんど一緒だし、似たような単語もたくさんあります。逆にアメリカ人やヨーロッパ人には難しいようでした。英語のクラスでは苦労しても、韓国語のクラスでは優等生で、なんだか気分が良かつたです。

#### 4-3. International House

大学の東門の近くにある国際寮に住んでいました。2人部屋で、部屋には机、ベッド、本棚、たんす、冷蔵庫があります。冷暖房完備、自分の部屋でインターネットも使って、新村の駅からは少し遠いけど（徒歩20分くらい）、とても快適です。2006年10月には寮のすぐ隣にカフェができたので遠くまで出かけなくてご飯を食べたりコーヒーを飲んだりできるようになりました。けれど、少し値段が高いので留学生にはあまり好評ではないようです。店員さんはいつもヒマそうでした。私自身も利用したのは数えるほどです。

唯一不便だったのが、キッチンがないことです。電子レンジでうどん作ったり、野菜切って食べるくらいでした。焼肉を食べに行けば、いくらでも野菜が一緒に出てくるのでそこで野菜不足を補っていました。

#### ・愛しのルームメイト フランシス

寮生活を送るにあたって一番重要なのが、ルームメイトだそうです。ルームメイトとの相性が悪いと最悪らしく、4ヶ月ほどの学期が10年に感じるらしい・・・。性格ももちろんそうですが、生活習慣や文化なども影響するようです。韓国に来て一日目。どんな子がルームメイトなんだろうと楽しみにしてたのに、来ない・・・。他の部屋はもう全部2人揃ってるのに、なんで！？ああ、私は半年間独りぼっちで寂しく過ごすんだと覚悟したその時、大荷物を持った一人の女の子が現われたのです。それが、愛しのルームメイト、フランシスです。

幸運にもフランシスはとてもイイコだったのでかなり快適に過ごしました。中国から来たフランシス（本名はシャオジエ。中国人の名前は欧米人にとって覚えるのが難しいため、みんなイン

グリッシュネームを持っていた。) とは結局学期を通して一番仲が良かったです。

彼女なしには私の留学生活は語れません。半年間お世話になりっぱなしでした。彼女も私のことが大好きでした(と言つてました)。つまり、相思相愛でした。自分たちのことをlesbianと呼んでいました。買い物の趣味も生活スタイルもほぼ同じだったため、毎日のように買い物に行ったりご飯を食べに行ったり、北京語、広東語を教えてもらったり、毎晩のように深夜3時とか4時まで語り合い、本当に楽しい寮生活でした。私がトイレに行くと“*I'm lonely...*”とか言って付いてきたのには正直びびりましたが。「花より男子」台湾版の道明寺が大好きで、ネットでドラマをダウンロードしては「ハンサムボーイ！！」と絶叫する姿がかわいかったです。

彼女はTOEFL 290点という脅威の英語力の持ち主で、頭もいい子だったので勉強面でもかなりお世話になりました。毎日予習や復習に付き合ってくれたし私がへこんでいるといつも

“*Don't worry! Be happy!*”と言つて励ましてくれました。この子がいなかつたら私はしおげて日本に帰ってきてたかもしれない。それくらいフランシスは私にとって大切な親友でした。

#### ・どこの国の人も固まります

よく「日本人は固まる」と言つたけれど、どこの国の人も一緒だと感じました。アメリカ系、北欧系、南欧系、アジア系、東南アジア系などなど。特に中国人グループはスゴイです。全員合わせて12人くらいのグループでしたが、ドコ行くにも一緒。何するにも一緒。彼らには留学先で外国人の友達を作るよりも、中国に帰つてからも親しく付き合える身内のほうを大事にする、とフランシスが言つていました。当のフランシスは、あの大移動が苦手らしく、いつもグループからの誘いを断っていました。

英語プログラムに参加している日本人は少なかった(私を入れて4人くらい)ので、意外にも日本人と接する機会は少なかったです。寮には語学プログラムで来てる日本人が結構住んでたらしいんですが、ほとんど会うことなく終わりました。

### 4-4. 国際交流サークル

延世にはMentor、Yonsei Global、IYCといった国際交流サークルのようなものがあり、留学生のためにいろんな催しをしてくれます。毎週のようにイベントをしたり、Language Exchangeをしたり、韓国に来たばかりの留学生に韓国での住み方を教えたり、携帯電話や日常品の買い物に付き合ってくれたりといろいろサポートしてくれます。

なかでも、Mentorには、Buddyといつて留学生1人に対して延大生1人がパートナーとして付いてくれるシステムがあり、何か困ったことがあつたらその Buddy に聞けばいいのですぐくいいなと思いました。私の Buddy はミジョンというお酒大好き20歳の女の子で、買い物一緒に行つたりゴハン食べたり、韓国語を教えてもらつたりして仲良くしていました。恋の相談ばっかりされてた気もしますが・・・。

### 5. Language Exchange

多くの延世の学生や海外から来ている留学生が言語交換をしています。言語交換とは、自分の母国語を教える代わりに学びたい言語をネイティブから教えてもらうというもので、まあ文字通りですね。グローバル・ラウンジに行けば相手を紹介してくれるし、掲示板に張つてある連絡先に自分で電話をかけてみてもいいです。日本語を勉強している韓国人も多いし、韓国に来ている留学生もなぜか日本語が喋れたり、日本語の勉強歴があつたりするので、相手は結構簡単に見つかります。

### 5-1. アレックス 21歳(♂)

学校が始まった当初、英語が分からずこれはやばいと思い、すぐに英語と日本語のLanguage Exchangeをする相手を探しました。急いでいたので、「ほんごのコンバセーションパートナー

をさがしています。アレックス 010-XXXX-XXXX」という張り紙をみて、とりあえず電話してみました。週に1回会うことになり、早速開始。アレックスはカリフォルニアから来た医学部生でびっくりするほど頭がよく、お父さんは会社経営、一人っ子、趣味はゴルフとテニス、来年は日本に留学予定というおぼっちゃまでした。コリアンアメリカンで韓国語も喋れる彼には英語だけでなく、韓国語も教えてもらっていました。私が録音した授業をタイピングしてくれたり、エッセイの基本的な書き方や表現の仕方、口語の英語など、彼のおかげで解決した疑問は山ほどあります。でも残念ながら、今は音信不通です。

### 5-2. アンジェリン 20歳 (♀)

もう一人の相手がバークレーから来たフィリピン人のアンジェリンという緑の物と焼肉が大好きな女の子でした。けろっぴと緑茶味のアイスが大好きで、一緒に買い物に行ったりするといつも緑色の物に反応していたのがかわいかったです。韓国語の教室が隣で、縁あって言語交換をすることになったんですが、彼女とは週に1回か2回、カフェで一緒に勉強したり、ご飯（いつもほとんど焼肉）を食べに行ってました。勉強熱心で、よく勉強にも誘ってくれました。アレックス同様、何度も私のエッセイを添削してくれたり、とてもお世話になりました。

### 5-3. 日本語教えるのって難しい！！！

2人との Language Exchange を通して思ったのは、日本語って教えるのが難しい・・・。毎日使ってるのになあ～。「なんで？」って聞かれても分からぬ質問ばかりだった。日本語もつと勉強していくばよかったです。でもよく考えるとひらがな、カタカナ、漢字を使い分け、しかも音読みと訓読みがあり、文法も全然違う日本語ってすごいかも。そりやあ外国人、特に英語圏の人にはかなり難しいでしょうね・・・。それを英語で説明するのがとても難しく、うまく説明できなくて「まあそういうもんって思えばいいんだよ！」とか言って適当にごまかすことも多かったです。力不足でごめんなさい。

### 5-4. 漢字=Chinese character

ビックリしたのが、中国人は、日本人が漢字の読み書きができるのを知らないんです！！！私の友達は中国人や香港人、台湾人が多かったんですけど、みんな私が漢字を読み書きできることにすごくビックリしていました。彼らの中では「漢字は中国のもの」であり、日本人も使っているという認識がないようでした。私が「山」や「河」などの簡単な漢字の意味を言ったりしただけで「マキ！すごいよ！そんなに Chinese character が読めるんだね！」と褒めてくれました。漢字が日本に入ってきてからもう1500年くらいたつのになあ・・・。

## 6. 旅行

韓国はバスや電車が安いので安く旅行ができます。特に高速バスはかなり発達していて、しかも朝の5時頃から深夜まで運行しているので、日帰り旅行も簡単にできるのが嬉しいです。でも、韓国の運転はかなりデンジャラスです。バスであろうがトラックであろうが関係なくみんなでカーチェイスです。隙間があれば入ってくる。ちょっとトロいと「ブッブー！！！」まあ目的地に早く着くからいいですけど・・・。でもいつか死ぬんじゃないかとヒヤヒヤもんでした。

地方に出るとほとんど英語が通じませんが、韓国語とジェスチャーでなんとかなります。観光地のお店の人は英語より日本語のほうが得意なところも多かったです。さすがお隣さんですね。

### 6-1. 全州 (8月下旬)

留学生オリエンテーションから授業開始まで、10日ほどの休みがあつたので、少し遠出してみることにしました。朝5時に起きてフランシスを起こさないように出発。ソウルから南へ約200キロのところにある全州へは高速バスに乗り2時間半ほど、料金は1200円くらいで着きます。

かつては百濟の首都として栄え、李成桂が生まれたところでもあります。ここでは歴史的遺産や韓式家屋の立ち並ぶ街なみが保存されていて、ゆっくりとした時間の流れが味わえます。そういった歴史的建造物や伝統家屋はだいたいどこも無料で見学できました。

そしてなにより、朝鮮王朝の3大料理の一つであるビビンバとクッパ発祥の地なので、ここにビビンバとクッパは格別でした。大量のおかずと共に登場したけど、気づけば全部一人で食べきってました。女の子が一人で旅してる姿も結構見ました。そしてみんな一人でビビンバを平らげていました。逞しい・・・。町並みもいい感じだし、ソウルからもすぐだし、ちょっと出かけるにはグッドです。

#### 6-2. 水原（10月上旬）

10月5～8日は、秋夕といって韓国の旧正月（※毎年日にちは変わります。）。日本で言うお盆みたいな感じでみんな一気に帰省します。いつもにぎやかなソウルの町はガランとして静かです。

せっかく学校も休みだったので世界遺産の水原華城でも見に行こうと、水原に出かけました。ソウル市内から電車で行けます。1時間半くらいで、料金はなんと激安150円くらい（だったはず）。ソウルの地下鉄の料金設定は素晴らしいです。初乗り100円くらいで、なかなか料金アップしません。15駅くらい乗れば10円上がるといった感じです。日本の地下鉄は高いですね・・・。

さて、ここ水原は王カルビの発祥地です。しっかり食べてきました。普段の焼肉の10倍くらいの値段がついてました。観光客用になってしまってるので、高かったです。味はもちろんグッド！！です。

#### 6-3. 江華島（12月中旬）

江華島にはもう行きたくないです。めっちゃ寂しかったです。人イナイ、車イナイ、建物、ナイ。バスを降りた時びっくりしました。ド田舎です。北朝鮮が近いので、軍隊はいっぱいいます。戦車も走っています。海に軍艦、います。大砲、鳴ってます。怖い～。

ネットで調べた限りでは結構繁榮してるっぽかったのに、違いました。とりあえず世界遺産の支石墓を見に行きました。市街からリッチにタクシーで行ったのはいいが、なんせ車が通らないので帰るに帰れなくなってしまった。ガイドを見ると、「バスは一日6便。時刻表はないのでいつ来るかは分からない。」・・・。バス走ってる意味あるのか！？仕方なく、歩道のないただ続くまっすぐな道を歩いて帰るハメになった。時々それ違う戦車や軍隊のトラックの兄ちゃんからジロジロ見られながら・・・。6キロの道のりが、もっともっと長く感じた。

ここは高麗人参の原産地です。道の脇には人参畑が広がり、高愛人參専門店もあります。人参直売所は韓国農協と提携していて、ソウル市内よりもだいぶ安く買えます。

#### 6-4. 春川（12月下旬）

韓国語クラスの5人で行きました。「冬ソナ」で有名になったナミソムのヨンサマロードと名物のタッカルビが目的でした。ソウルから汽車で1時間半くらい。日本のおばちゃん達がいっぱいいるのかなと思ったけど、全然いませんでした。もうブームは去りつつあるらしいです。売店のおばちゃんが「日本人が来なくなったから儲からないのよ」と寂しそうに言っていました。

さて、ここはタッカルビの発祥の地です。とりあえず食べまくりました。やっぱり本場なだけあって、美味しいです。タッカルビストリートというタッカルビ専門店がずっと並んだ通りがあるんですが、その客引きはすごいです。客の腕を引いて連れ込む連れ込む。そして私が逃げると、「△●※↑&■◎←▽♪★○‥#●☆=====～～！！！！！」と怒鳴られた。怖かったです。

#### 7. 退避訓練（10月16日）

10月中旬に空襲からの退避訓練がソウルで行われました。半年に1度行われているらしいの

ですが、北朝鮮が核実験を行ってからすぐの訓練だったので私もちょっとドキドキしていました。ヘリコプターのような大きな音が鳴り響き、寮の人たちも心配そうにソワソワしていました。すると突然エクアドル人のオバチャンが、私の前をすごいスピードで走り去って行きました。悲鳴をあげながらパニック状態。どうやら訓練だということを知らずに戦争が始まったと思ったみたいで、「帰りたい！帰りたい！」と叫んでいました。この日は、私が北朝鮮はすぐそこにあるんだということを初めて認識した日です。ソウルは北朝鮮のすぐ近くにあるのに、沢山の人々が普通に生活しているのがなんだか不思議に思えました。

## 8. 韓国の激しい交通事故

「行けたら行く」が韓国のルールです。車も歩行者も対等です。信号はあるけど、赤でも「行けたら行く」です。びっくりです。

一番びっくりしたのは、ちょっと前のほうが詰まっていた時。私はバスに乗っていたんですが、なんと対向車線に飛び出して普通に走り出した！！！なんで！？向こうから車来たらどーすんの！？びっくりと共に怒りを覚えた。ほんまに死んだらどないすんねん！公共機関やろがあ～！！！と心の中で叫びつつ、運転手さんの運転テクには感心しました。まあ、無事だったのでヨシとします。他にも、普通の市街の道路で 120 キロとか出されるので、ヒヤヒヤしたことは多いです。

韓国は、人口に対する交通事故死者の数が世界一らしいです。あの猛スピード、車間距離、信号無視、歩行者無視、せっかちな運転を見れば納得できます。韓国の俳優やタレントが交通事故で入院するというニュースもよくあるそうです。一刻も早く、ちゃんと規制るべきです！！！

## 9. ダンススクール

運動不足解消のため、ヒップホップを習い始めました。新村にある結構人気のあるダンススクールに通ったんですが、1ヶ月の受講料が 90,000 ウォン（約 1 万円）で、日本に比べるとだいぶ安いみたいです。先生は 21 歳のかわいらしい女の先生で韓国のダンスの大会などで活躍していました。習いに来ている女の子はみんな若くて 15～18 歳がほとんど。私とフランスは最年長組で、振りの覚えが悪く、よく居残りレッスンしてもらったものです。みんな真剣に習っていて将来は BoA になりたい！！！っていう子が多数でした。髪型や格好も憧れの人とそっくりで、かつて日本にアムラーがいっぱいいたように、そこにはボーアがいっぱいいました。

## 10. スキンシップ

よく映画やドラマで韓国の女の子同士が手を繋いだり腕を組みながら歩いてるのを見てましたが、実際もあんな感じです。最初は暑苦し・・・とか思ってたけど、私も 1 月くらいになると普通に腕組んで歩いてました。慣れると大丈夫です。というか腕組まないとなんか物足りないというか寂しいというか・・・笑。歩く時は常にイチャイチャしていました。日本に帰ってきたとき、友達の腕を組もうとしたら普通に嫌がられてちょっと悲しかったです。やっぱ日本じゃダメか・・・。

やたらボディタッチの多い生活でしたが、これも家族、友達、恋人への愛情表現なのかなと思いました。韓国人は身内をとても大切にしてるので、そういう感情が表にでてきてるのだと思いました。韓国人は他人にはちょっと冷たいところもあるけれど、一度友達になればすごく親切にしてくれます。

しかし、お店の店員はとても無愛想。洋服屋さんで服を広げてみるとイヤそうな顔するし、某焼肉店のオバチャンたちは常に怒っていました。飲食店の店の人は、ヒマが出来たらお客様がいても普通にゴハン食べだします。これは日本で見たことがない光景でした。バイトの子もバイト中に携帯で喋ってたりメールしてたり。日本だったらすぐクビですね。

## 11. 在外韓国人

ウワサには聞いていましたが、留学生には在米韓国人のような、在〇韓国人がとても多かったです。私の友達だけでも、在米、在日、在中、在マレーシア、在インドネシア、在独、在ポルトガル、在カナダ、在フィンランドなどなど、様々でした。彼らに「なんで留学先に韓国を選んだの？」と聞くと、「自分は韓国人なのに母国に来たことがなかったから。」「韓国に興味があったから。」という答えがほとんどでした。

しかし、「お父さんとお母さんを探しに来た。」と答えた子が何人かいたのです。意味が分からず詳しく聞いてみると、「小さい頃にアメリカに養子に出されてアメリカのお父さんとお母さんに育てられたけど、本当の自分のお父さんとお母さんのことを知らない、だから探しに来たんだ。」というのです。しかも、両親に関する情報や、見つけられる確証もないというのです。「お父さんとお母さん見つかることを祈ってるよ。」としか言えませんでした。なんと言つていいか分からず、自分が情けなかったです。そして、彼らと同じように本当の両親を探すために留学してくるというケースは結構多くあることを知り、そんな彼らの姿が逞しく映りました。

## 12. お金の話

韓国は物価が安いイメージがありますが、交通費と食費はだいぶ安いです。バスも地下鉄も初乗り約100円。値段もほとんど上がりません。タクシーは初乗り200円くらいで、その後は1kmで60円アップくらいです。飛行機は国内線なら旅行会社で探せば8000円～10000円。食費は、学食なら300円、一般的な食堂なら400～500円あれば普通にビビンバや冷麺、チゲ、定食など、なんでも食べられます。焼肉屋さんに行ってお腹いっぱい食べても、2人で1500円くらい。お酒も安いです。清酒が1リットルで200円、ビール1瓶150円くらいなので、1000円あれば酔っ払えます。

洋服も made in Korea や made in China のものは特にかなり安いです。東大門市場、南大門市場には安い服がいっぱい売ってあり、いつもバーゲン状態です。質はいいとは言えませんが、韓国のファッショニはコロコロ変わるので、質より量らしいです。

逆に、物によっては日本より高いと感じるものも結構あります。例えば、カフェ。スタバでは、ショートサイズのコーヒーで、400円くらい。ケーキ1個400円くらい。ゴハン代と同じくらいします。

## 13. 留学を振り返って

留学中につけていた日記を読み返してみると、9月なんかは特に、面白いくらいに「英語」とか「プレゼン」とか「不安」の文字がたくさん見受けられます。どうやら私は相当病んでたらしいです。でもそういう文字も、月日が経つにつれてだんだん減り、私が壁にぶち当たった時は、必ず友達が助けてくれたので、「ありがとう」がいっぱいの日記になっていました。彼らには本当に感謝です。気づけば12月の日記には遊びまわったことしか書いていません。外国人の友達がたくさんでき、慣れないことばかりのなかで刺激を受けながらたくさんの経験が出来たことは、私にとって大きな収穫でした。ドキドキしたり、楽しかったり辛かったり、これまでの人生で一番密度の濃い4ヶ月半だったと思います。

☆冬ソナ in 春川☆



☆延高戦アイスホッケー感動の勝利の瞬間☆



☆愉快なクラスメイト達☆

☆フランスなくして留学生活なし☆  
～よくホモセクシャルって言われたっけ～

☆激うまビビンバ（これで一人前）☆



☆100円市民スケートリンク☆



☆映画のロケ地にもなる延世の校舎☆



『韓国留学体験記』 山中 麻希